道標ない旅

自分も人も大切に
～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～

令和４年度　第３６号
２０２３．３．２０発行
葉山町立長柄小学校
校長　益田孝彦
Tel.　046-875-6860
Fax.　046-876-0682
http://www.town.hayama.lg.jp/nagae

◆◆　６年生の最後の活動が続いています。　◆◆

写真は学校にサクラを植えようというグループの活動です。造園業の保護者の方のご支援の元、校庭のプール側に植樹が行われました。その他にも思い思いの活動を展開してくれました。

◆◆　南郷中学校の英語の先生が、特別授業を行ってくださいました。　◆◆

小中一貫校化に向けた取組の一つとして、南郷中学校の英語科の先生方３名をお迎えして、中学校の先生による特別授業が行われました。子どもたちを指導して下さったのは、英語指導に並々ならぬ情熱を燃やす　　　　教諭。「カタカナ英語」にならない発音指導等実施してくださいました。アンパンマン英語バージョンも披露してくださり、６年生の興味や向学心に火を付けてくださいました。

◆◆　長柄小学校初めてのレシテーション大会決勝が１４日に行われました。　◆◆

初めての実施、１年目ということで、どのくらい子どもたちが自分事として取り組んでくれるのだろうと思っていましたが、先日お伝えした予選大会の成果そのままに、さらにブラッシュアップした代表者２１名のパフォーマンスが展開されました。児童の成果を直に確かめに来られた、南郷中学校英語科の３名と、南郷中教頭先生も一緒に見守る中、子どもたちの素敵なパフォーマンスが続きました。代表の皆さん、そしてそれを支えた６年生の皆さん本当にいいものにしてくれて、ありがとうございました。

＜南郷中学校の先生方から＞

・南郷中１年生のレシテーションに全然引けを取らない素晴らしいできだったと思います。驚きました。
・皆さんの雰囲気作り、支え方とてもいいなと思いました。レシテーションを離れて、自分だったらどう表現するかまで考えてみてください。
・盛り上げてくれたチェアパーソン、頑張った代表の人たち、長柄小学校の先生方に、そして全部を支えた皆さん（自分）に、拍手してください。本当にお願いして良かったなと思っています。今回の皆さんのできばえにびっくりしています。皆さん世界に進出して活躍しましょう！

◆◆　そして３月２０日、長柄小のリーダー６年生が本校から立派に巣立っていきました。　◆◆

＜一部抜粋して、私から送った言葉を紹介します＞

皆さんが生きていく時代は、大人が経験してきた学生時代とは明らかに違う難しさを抱えています。　一つは、人工知能ＡＩをうまく活用していく、人の役割が今までの社会におけるものと明らかに違っていくことです。二つ目は、世界の距離が近くなったことから、鳥インフルエンザのパンデミックのリスクを社会が抱えることになりました。三つ目は、戦争の危機が、今の生活の隣り合わせで顔を覗かせていることです。

その３つどれをとっても、人々が知恵を出し合って、その状況から抜け出す賢明な努力が必要になっているのです。今の社会を支える大人は、一生懸命働いてきましたが、平和な時間を当たり前に受け止め、あまり物事を考えることなしに、過ごしてきてしまったなという反省があります。

これからの時間を生きていく皆さんは、大人以上に、今の世界を良く見つめ、知恵を尽くして、解決策を見つけ出して行く努力が求められます。道標に従うだけの、生き方ではだめで、道標ない道を、自分で道標を思い描いて進んでいける「しなやかな心」が、鍵を握っていくはずです。

とはいえ、きっと道中はひとりぼっちではないことでしょう。「自分の人も大切に　思いやり　チャレンジ　しなやかな心」の目標の下で育ってきた皆さんのまわりには、あなた方の優しさが引き寄せた、信頼できる仲間がいることと信じます。それはあなたのかけがいのない財産です。「自分も人も大切に」、友と一緒に立ち向かって欲しいと願います。

その時に必要となるのが、生き抜くための豊かな経験・エネルギーです。

野球のＷＢＣで活躍する選手の姿は、私たちの心を豊かにしてくれていますが、選手達が、敵意を持って寄贈のではなく、相手への敬意を持って接していることで、戦い終えた国同士が尊敬し合い、相手を好きになって終わることが出来ていることも､これからの世界を作っていく上で大事なことのように感じながら観戦しています。

卒業生の皆さんも、共に生きること、「自分も人も大切に」したことで、得られた幸せな時間や、この葉山町長柄地区の豊かな自然環境。それらの素晴らしさを知っていて、大切にしようと願える、エネルギーこそが、それらの大切さを世界に発信し続けられる原動力になります。そんな皆さんの経験値自体が、とても重要な財産なのだと思っています。宝物のような共に生きる素敵な経験をもとに、道標を自分で思い描いて、予測できない時代を乗り越えていって下さい。

◆◆　３月１日の本校校内研究全体会で教職員に伝えたこと｡「マインドセット」について　◆◆

最近はやりの英語表現で申し訳なく思いますが、「マインドセット」ということばがあります。

マインドセットとは人間の行動を決める「考え方」や「モノの見方」や「心構え」と言った意味や、「固定概念」といった訳が当てはまる単語です。今回お伝えしたいのは、仕事においての行動は、その人物のマインドセットにより形成されるとされています。とるべき行動を変える必要があるときは、考え方やモノの見方から変えていく必要があるということです。

マインドセットには、「成長マインドセット」と「固定マインドセット」の 2 種類があります。人はどちらも持ち合わせていると言われており、状況によって適したマインドセットへ切り替えることが重要です。

「成長マインドセット」は、「努力をすることで自分の能力は伸ばすことができる」と考える前向きな在り方を指し、以下のような行動上の特徴があります。①新しいことに挑戦する　②学習することに意欲的　③失敗から学ぶ。仕事において、学びと成長は欠かすことのできない重要な要素です。そのため、成長マインドセットは仕事をするうえで望ましい在り方とされています。

一方、「固定マインドセット」は、「自分の能力は固定されたもので、努力しても変えられない」と考えるネガティブな在り方を指し、以下のような行動上の特徴が挙げられます。①新しい挑戦を避ける　②学習に意欲的ではない　③失敗や困難を過度に恐れる｡固定マインドセットでは､努力や成長をネガティブなものとして捉え、その人の成長を止めてしまいます。しかし、誰しもが持つ考え方ではあるため、そういったネガティブな考えを構成する要素を理解したうえで向き合っていくことが重要となるそうです。

さて、２月２８日、長柄小学校では、他校の先生方も招待して、様々な研修に出た本校教師による報告会が行われました。その発表を大きくまとめると、（１）私たちがやろうとしていることは、共通理解がしっかり図られた、学校教育目標に即した、目指そうとしていることか改めて確認することが重要　（２）他校の例を参考にしても、小中一貫校を目指すなら校内研究を軸に取り組む　の２点にまとめられると思いました。小中一貫校化に向けて私たちは「新しいことに挑戦する」フェーズを迎えています。ここで重要なのは、まさに「成長マインドセット」です。弱気や後ろ向きな思いが顔を出しそうな場面は幾度もあるかと思いますが、学校がチーム一丸となって、新しい挑戦に前向きに取り組めるようになることを、先生方全員に期待します。

（https://school.jp/biz/column/707　の内容を参照加筆修正させていただきました）